

みゅーじあむ・船橋

令和6年3月

Funabashi Historical Museum & Tobinodai Historic Site Park Museum News
みゅーじあむ
Vol.22
船橋



第22号

| | |
|--------------------------|-------|
| 博物館ニュース | [2] |
| 船橋遺跡風景今昔 10 ～佐倉道南遺跡～ | [3] |
| 貝塚、その日そのひ 5 ー未来の船橋の貝塚ー | [4-5] |
| モノが資料になるまで つるや伊藤寄贈資料を事例に | [6-7] |
| インフォメーション | [8] |

博物館ニュース

郷土資料館

蒸気機関車設置50周年記念イベント

令和5年11月、郷土資料館は蒸気機関車（SL）が設置されてから50周年という節目を迎えました。当館ではこれを記念して、10月1日から11月30日まで、SLに関する一連のイベントを開催しました。

このイベントは、設置されているD51 125号機を紹介する写真・パネルの展示やミニSLの乗車体験、SLボランティアによる小学生向けのSL講座を開催するなど、SLを「見る」だけでなく「学び」や「体験」を通じて知ってもらうことを目的としたものです。

3階ギャラリーにて行った展示では、50年前のSL設置の様子や、SL愛好者から提供いただいた実働時代の写真を大判プリントで展示しました。

また、11月11日に行われたミニSL乗車体験は、習志野鉄道倶楽部の協力のもと、薬円台公園の噴水広場にて開催し、1,140人の皆さまに乗車いただきました。会場では、車両の上で蒸気に包まれた子どもたちが楽しむ姿が見られました。



飛ノ台史跡公園博物館

企画展 「変化する縄文の暮らし—船橋の縄文時代後期—」

飛ノ台史跡公園博物館では、令和5年11月11日から令和6年2月4日まで、企画展「変化する縄文の暮らし—船橋の縄文時代後期—」を開催し、会期中68日間で1,944人の方々にご来館いただきました。

船橋市には、現在206ヶ所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が把握されています。そのうちの114ヶ所が縄文時代の遺跡で、縄文時代後期は47ヶ所あります。そこで今回の企画展では、市内で多く出土



企画展の様子

している縄文時代後期（約4,400年前～3,200年前）

に注目し、文化的な変容を中心とした展示を行いました。1階ギャラリーには、年代別に並べた後期の土器や市内で出土した土偶、石棒など、約80点の遺物を展示したほか、船橋の遺跡把握の歴史、後期の遺跡である宮本台貝塚、古作貝塚、金堀台貝塚の紹介など、船橋市内の縄文後期の遺跡を存分に堪能できる内容にしました。

また会期中は、無料観覧日を4日間設け、496人の入館者、同日の展示解説には65人が参加され、多くの方々に博物館を知っていただく機会となりました。関連イベントとして、子どもから大人まで楽しめるクイズラリーを開催し、464人のお客様が当館限定のオリジナル缶バッジを持ち帰りました。今後も当館の企画展を楽しみにしていきましょう。



企画展ポスター

佐倉道南遺跡のあらまし



↑ 遺跡の範囲 (赤枠)

佐倉道南遺跡は中野木川の谷津を北に望む標高20mの台地上にあります。中層住宅等の建設に先だって、昭和48年(1973)から発掘調査されてきました。



↑ 遺跡北東部から 昭和48年(1973)
台地上に中層住宅が建つ 船取線は工事中である

出土品

遺跡からは、多数の住居跡や炉穴、縄文早期後葉(約8,500～8,000年前)の土器が多数出土しました。



①



②



③

- ① 深鉢形土器(子母口式並行) しぼぐち
飛ノ台史跡公園博物館展示
- ② 1の出土状況
- ③ 土製円盤
飛ノ台史跡公園博物館展示

遺跡周辺の今昔 ～同じ場所がこう変わった～



昭和48年(1973)
遺跡遠景西側水田面より



平成15年(2003)
中野木川の護岸工事が進む



令和5年(2023) 8月
台地下には高層住宅が建つ



昭和48年(1973) 遺跡遠景
北東側水田面より 前方台地上ビル横が発掘地



令和5年(2023) 8月
遺跡のある台地の下に高層住宅が建ち、かつての遺跡地は見えない。手前の水田からとれる稲藁を使って※「辻切り」の材料としていた。

※中野木の辻切り…集落の出入り口の木に藁でつくった大蛇を架け、悪霊や悪疫が入ってこないよう藁蛇に願う民俗行事。中野木では毎年2月の初午の日に行っている。平成9年に船橋市無形民俗文化財として指定された。

(参考)『とびのだい vol.9』(2003 船橋市教育委員会)『佐倉道南』(1975 同)『船橋市の遺跡』(1987 同)『船橋市の文化財』(2023 同)

— 未来の船橋の貝塚 —

はじめに

時代を示すモノサシとなる貝殻などの化石は、理科や古生物学では示準化石と言います。例えば三葉虫は約5億年前から2億年前の古生代、アンモナイトは約2億年前から6,500万年前の中生代、ビカリアは約6,500年前から現在までの新生代を示す示準化石と呼ばれます。

考古学では、土器のデザインをモノサシとするため、示準化石という言葉は馴染まないですが、時代や時期によって当然ながら、貝塚でみつかるときの貝殻の種類も違います。令和3年(2021)に国史跡となった約1万年前の取掛西貝塚ではヤマトシジミ、市指定文化財(史跡)である約8,000年前の飛ノ台貝塚ではハイガイ、高郷小学校の下にあった約5,000年前の高根木戸遺跡ではハマグリで主に貝塚はつくられています。

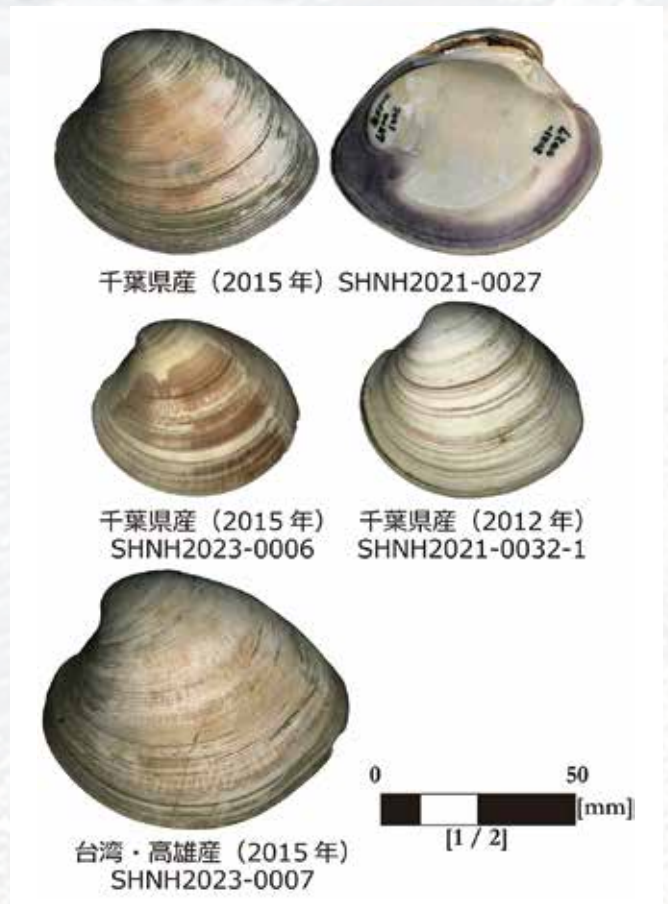
この貝殻の種類の変化は、船橋の当時の環境を示しています。ヤマトシジミが多い1万年前の船橋は、海が遠くにあり、汽水域⁽¹⁾が広がっていました。約8,000年前の船橋は、現在の台湾やフィリピンなどの暖かい国で養殖しているハイガイがたくさんみつかることから、今よりも海水温度が高かったようです。では、現在に生きるわたしたちの時代の貝塚は、どんな貝の種類でつくられるのでしょうか。おそらく未来の考古学者は、ホンビノスガイを示準化石として、平成期(1989～2018)の貝塚を推定することとなるのかもしれませんが。

1. ホンビノスガイ *Mercenaria mercenaria*

ホンビノスガイは平成10年(1998)に東京湾でみつけた北米原産の外来種です。原産国のアメリカ・フロリダなどでは重要な水産資源です。日本よりも暖かい台湾南部の高雄でも生息しており、市場に流通しています。⁽²⁾

貝殻の色は、褐色が多く、稀にアサリのような模様を持つ個体もあります。かつては「白はまぐり」の名称で販売されていたとおり、博物館の収蔵資料では採集日の古いものほど白色個体が多くみられます(第1図)。

千葉県は、三番瀬のホンビノスガイを平成25年(2013)に漁業権対象種、⁽³⁾平成29年(2017)に「千葉ブランド水産物」に認定しました。船橋にとって重要な水産資源ですが、漁獲量が減少傾向です。⁽⁴⁾



第1図 当館所蔵のホンビノスガイの一例

このホンビノスガイの漁獲量の低下は、船橋における直近の地域の課題です。平成29年度(2017)に1,676トンであったホンビノスガイの漁獲量は、令和4年度(2022)には81トンまで落ち込みます。⁽⁵⁾⁽⁶⁾

このホンビノスガイの異常事態は、発生してから、資料を集めて、調査研究をおこなったとしても、その原因の特定はおそらく難しいでしょう。異常事態に備えて、その前兆を明らかにするためには、常日頃より、過去の資料が必要となります。その仕事がまさに博物館の「お仕事」である学芸員による資料収集と調査研究です。

(1) 海水と淡水が混ざる塩分の低い水域

(2) ホンビノスガイの仲間ではあるピノスガイは、北海道などの寒冷な海に現在も生息。千葉県では、約13万年前の木下貝層や約30万年前の瀬又貝層で産出。船橋でもピノスガイの化石は稀に採集することが可能。

(3) 千葉県報 号外 第38号 平成25年5月21日(火曜日)

(4) 2023年7月27日付東京新聞「江戸前の新名物 水揚げピンチ 三番瀬ホンビノスが激減」

(5) 農水産課の提供ならびに教示(令和5年11月1日)

(6) その原因としては、温暖化や青潮、バラスト水管理条約(2017年)など

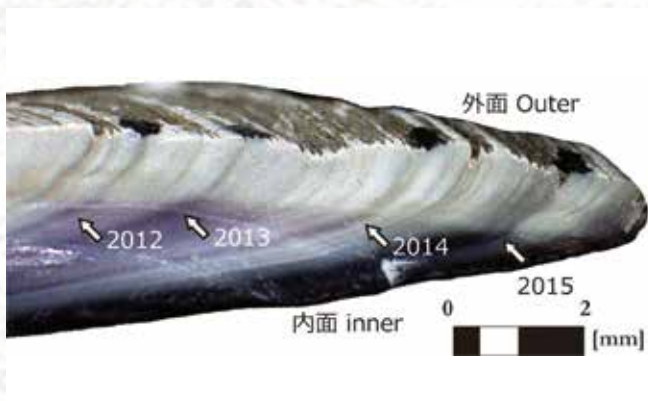
2. 博物館のお仕事と新たな使命

博物館のお仕事として、博物館資料の収集、保管および調査研究があります。さらに令和4年(2022)に出された改正博物館法により、地域の課題への対応等の社会的な役割が博物館の新たな使命となりました。

この博物館のお仕事の一環として、平成24年(2012)より、ホンビノスガイの資料収集もおこなっております。しかしながら、全国的にも問題になっていますが、博物館の収蔵スペースの問題で大量に収集・保管することは困難であり、隔年で数点のみを確保しているのが現状です。今回は、僅かな資料ではありますが、ホンビノスガイの年齢毎の成長を示標として、直近の地域の課題を解決するための情報を提示したいと思います。

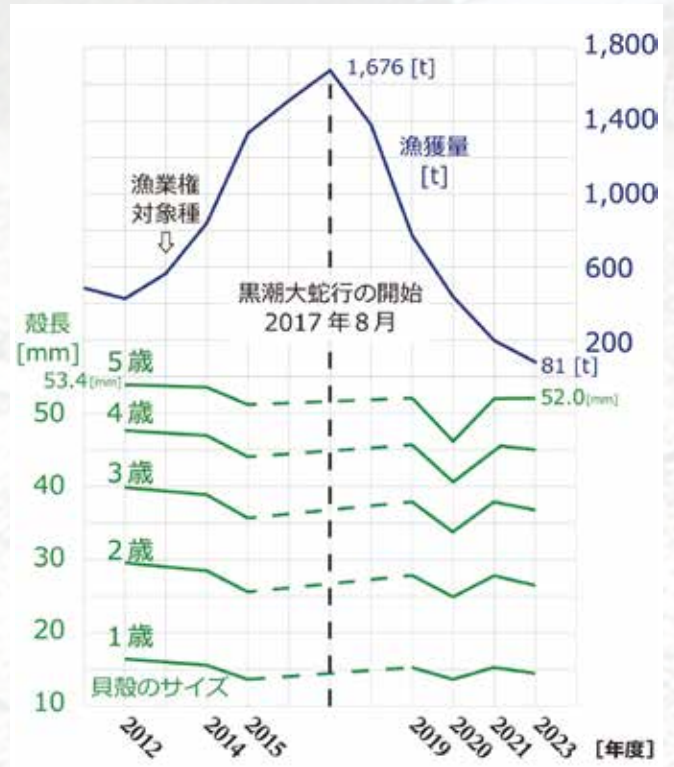
3. ホンビノスガイの分析

貝殻は、1日に1本ずつ日輪をつくります。この日輪を数えることで貝の生きた日数が推定できます。また2月中旬に年輪をつくります(第2図)。



第2図 ホンビノスの切断面(SHNH2021-0027)
矢印の先が年輪を示す

この年輪を基準とした貝殻のサイズより、平成24年度(2012)から令和5年度(2023)の約10年間における変化をみます(第3図)。5歳のサイズを比較すると、平成24年(2012)では53mmですが、令和元年度(2019)には52mmに低下し、令和4年度(2022)も同じく52mmとなりました。1~4歳も同様に成長が低下する傾向です。平成24年度(2012)年より、成長が低下していますが、漁獲量としては増加傾向となります。また不幸なことに最も漁獲量がピークとなった平成29年度(2017)に黒潮大蛇行が発生して、海の状況が複雑に変化しています。この変化は、令和5年度(2023)現在においても継続しており、ホンビノスガイの棲息環境は今後も改善するのか、わかりません。



第3図 漁獲量と各年齢の平均サイズ

今回は、ホンビノスガイの成長を示標として、自然環境の変化と漁獲量低下の関連を探りました。調査研究は、これで終わりではありません。貝殻の成分を調べると、何年前の何月何日における海水温度や塩分濃度など当時の海の環境がわかります。この分析を使うことで温暖化によって成長が遅くなったのか、もしくはそれ以外の要因なのか、推定できるでしょう。さらに今はわからないことでも未来ではわかることがあります。今回の資料も継続的な調査研究ならび保管して、未来の研究者に引き継ぐことは、博物館の重大なお仕事です。

おわりに

未来の考古学者やさらに遠い未来の古生物学者は、船橋のホンビノスガイを示準化石として、今を生きるわたしたちを遠い過去の歴史の一部として、この平成期の貝塚を研究の対象とするかもしれません。そんな未来の研究者や博物館の学芸員のために、今できることとして、博物館資料の収集と保管、調査研究に努めて参ります。(畑山 智史)

主な参考文献

濱崎瑠菜・工藤貴史 2018 「ホンビノスガイ漁業の発展過程から考える東京湾における人と生物と水の関係」『水産振興』第604号、東京水産振興会、1-49頁

モノが資料になるまで つるや伊藤寄贈資料を事例に

はじめに

博物館に展示されている資料は初めから博物館の資料であったわけではありません。どのような過程を経て博物館の資料となるのか、今年度新たに寄贈を受けた、「つるや伊藤」の資料を例に紹介します。

寄贈希望の連絡を受けてから

「つるや伊藤」は市内で安政元(1854)年に創業した注染^{ちゅうせん}*1や藍^{あい}染め^ぞといった染物を中心に旗^{ひら}や緞^{どん}帳^{ちやう}などを扱っていたお店です。

資料を見せて頂く際には、誰が、いつ、どこで使用されていたかなど、寄贈者や使用者にしか分からない情報を聞き取ります*2。聞き取り後、郷土資料館で同じ資料を持っていないか、船橋市博物館資料収集方針*3に即しているかなどの確認・検討をして受け入れの決定をします。

資料を受入れる際は、資料の大きな総数や大きさを把握してから受入れを行っています。これは、何が寄贈されるのかを確認したり、仮整理室に資料を置くスペースを確保したりするためです。とりわけ、民俗資料は、大きな資料もあるため、資料を置く場所を空けておく必要があります。

資料を受け入れてから

資料を受け入れてから埃やカビ、傷等の状態を確認します。その後、資料番号を振り、台帳に大きさや特徴を記入します。

整理後の資料は、展示替えや企画展等の開催がなければ、来館者の目に入ることはありません。そこで資料の整理結果の一つとして企画展やミニ展示での新蔵展示を行っています。「写真2」、「写真3」が今回の新蔵展示の様子です。

「写真2」のケースには、注染と刷毛染めに使用する道具を置いています。右側の紐のついたも



写真1：「つるや伊藤」の外観写真

※店舗は令和6年3月現在、既に取り壊されています。

のは、「張手^{はりて}」といい、絹一反の両端に挟み、張らせて干すために使用します。隣にある細い棒は「伸子^{しんし}」といい、先端に針がついています。布の裏側の手前と奥に針を掛けることで布地を張らせることができます。「つるや伊藤」によると、伸子は8cmごとに取り付け、熟練の職人が行くと、アイロンがいらなくらい綺麗に仕上がったそうです。ここまでが洗張^{あらいはり}や無地染め、板染め、印染め等で使う道具類です。



写真2：3階廊下の展示①



写真3：3階廊下の展示②

「写真2」の一番左側の「ノリヘラ」と「写真3」のケースの資料は、注染で使います。「写真3」のケースには、下段に手拭の型紙と上段に完成品を展示しています。反物の上に枠にはめた型紙を置き、ノリヘラで防染糊をしきます。防染糊が塗られた所だけは、染料を注いでも染まりません。上の完成品を見ると、型紙の彫られている箇所だけが白地であるのが確認できます。

博物館資料のその後

博物館の資料は、整理・収蔵・展示を一度行えば終わりではありません。100年後も出来るだけ状態が変わらぬよう、収蔵庫の掃除や資料の整理を行い、資料の不明点を再度の聞き取りや文献調査、他施設への問い合わせを行うこともあります。

博物館資料は寄贈を受け、整理をし、収蔵して展示が出来るようになって初めて資料と呼べる状態になるのです。(廣江 咲奈)

注

- ※1：生地に染料を注いで染める技法の一つです。注染では、生地に糊をつける糊置き、糊を乾かしヤカンで染料を注ぎ込む注染、糊や不要な染料を洗い落とし、乾燥させるなどの作業が行われます。また、手拭の場合、反物を手拭サイズに裁断する作業もあります。
- ※2：このような情報を、「来歴」「コト情報」などといいます。
- ※3：船橋市郷土資料館と飛ノ台史跡公園博物館で定められた資料を収集する際の受入れの方針のことです。船橋市郷土資料館は、「船橋市域に関する考古、民俗、歴史などの資料を収集・保存、展示している」博物館なので、主に船橋市内で使用されていたものを受入れています。

インフォメーション

※両館の行事の詳細は、毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。

※日程・内容に変更が生じる場合がございます。最新の情報は、ホームページをご確認いただくか、直接両館にお問い合わせください。

郷土資料館

※薬円台公園内のSLの運転台を、毎週土曜日・日曜日・祝日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

【令和6年9月までの主な行事予定】

| 期 日 | 行 事 名 | 会 場 |
|------------------|---|--------------------------|
| 5月3日(金)～6月9日(日) | 千葉県誕生 150 周年記念 事業パネル巡回展「写真で見るちばのあゆみ」 (主催：千葉県立中央博物館) | 3階第2展示室 |
| 6月8日(土) | 地域史講座「おさんぽのすゝめ 三咲編」(仮) (共催：三咲公民館) | 三咲公民館 (船橋市三咲 3-5-10) |
| 6月22日(土)～7月3日(水) | 出張美術展 (主催：船橋市文化課) | 3階第2展示室 |
| 7月6日(土)～9月9日(月) | 「君の推しはどこだ！～戦国千葉の甲子園～」展 | 吉澤野球博物館資料展示室 (船橋アリーナ) |
| 7月13日(土)～9月8日(日) | 企画展「船橋の食文化」 | 3階第2展示室 |



協力：
船橋市華道連盟

飛ノ台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間中に、小学校4年生から大人向けのワークショップを実施しています。

【令和6年9月までの主な行事予定】

| 期 日 | 行 事 名 | 会 場 |
|------------------|-------------------------------|---------|
| 開催中～5月12日(日) | 企画展「1万年前のタイムカプセル ―国史跡 取掛西貝塚―」 | 1階ギャラリー |
| 7月21日(日)～9月1日(日) | 第23回縄文コンテンポラリー展 | 1階ギャラリー |

「ふなばし生涯学習チャンネル」では、両館の職員手作りの学習動画を配信しています。➔



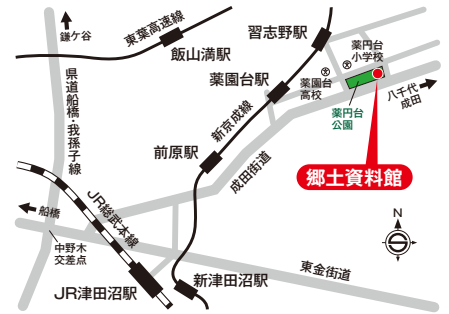
ご利用案内・交通案内

郷土資料館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
住 所 船橋市薬円台4-25-19
電 話 047-465-9680
F A X 047-467-1399
Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成線 習志野駅下車徒歩10分
JR津田沼駅北口から
船橋新京成バス・ちばレインボースタ
「郷土資料館」下車徒歩2分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般110円(団体20名以上70円)
児童生徒50円(団体20名以上30円)
市内在住中学生以下 無料
住 所 船橋市海神4-27-2
電 話 047-495-1325
F A X 047-435-7450
Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン
新船橋駅下車徒歩8分
京成本線 海神駅下車徒歩15分
東葉高速線 東海神駅下車徒歩12分
船橋新京成バス
JR船橋駅北口から山手ループ線
「海神中学校前」下車徒歩1分



休館日カレンダー

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 |
| 1 2 3 4 5 6 | 1 2 3 4 | 1 | 1 2 3 4 5 6 | 1 2 3 | 1 2 3 4 5 6 7 |
| 7 8 9 10 11 12 13 | 5 6 7 8 9 10 11 | 2 3 4 5 6 7 8 | 7 8 9 10 11 12 13 | 4 5 6 7 8 9 10 | 8 9 10 11 12 13 14 |
| 14 15 16 17 18 19 20 | 12 13 14 15 16 17 18 | 9 10 11 12 13 14 15 | 14 15 16 17 18 19 20 | 11 12 13 14 15 16 17 | 15 16 17 18 19 20 21 |
| 21 22 23 24 25 26 27 | 19 20 21 22 23 24 25 | 16 17 18 19 20 21 22 | 21 22 23 24 25 26 27 | 18 19 20 21 22 23 24 | 22 23 24 25 26 27 28 |
| 28 29 30 | 26 27 28 29 30 31 | 23 24 25 26 27 28 29 | 28 29 30 31 | 25 26 27 28 29 30 31 | 29 30 |
| | | 30 | | | |

□ は郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館休館日 ※都合により、休館日が変更になる場合があります。

発行：令和6年（2024）3月31日 船橋市郷土資料館・船橋市飛ノ台史跡公園博物館
表紙写真：鉢形土器 神保君雄氏撮影